

# IX 家 畜 衛 生



# Ⅸ 家 畜 衛 生

## 1. 概要

本県の家畜衛生は、家畜保健衛生所法により設置されている中央家畜保健衛生所、北部家畜保健衛生所（北部農林水産振興センター家畜保健衛生課）、宮古家畜保健衛生所（宮古農林水産振興センター家畜保健衛生課）、八重山家畜保健衛生所（八重山農林水産振興センター家畜保健衛生課）の4つの家畜保健衛生所と、家畜衛生試験場が連携して、防疫衛生業務等を推進している。

家畜保健衛生所は、家畜衛生技術の指導・普及、家畜疾病の疫学調査・検査、発生予防・まん延防止等を実施している。一方、家畜衛生試験場は、病性鑑定業務や疾病対策のための試験研究、本県独特の疾病の試験研究を実施している。

近年の国内外における家畜衛生をめぐる情勢として、口蹄疫は平成22年4月に宮崎県で10年ぶり2回目となる発生があり甚大な被害をもたらしたが、それ以降国内での発生はない。

しなしながら、中国において、継続して発生が確認されており、国内への侵入リスクは高い状態である。高病原性鳥インフルエンザについて令和2年度国内での発生は、18県52事例と過去に類を見ない発生があった。同時期の世界的な発生状況を鑑みても令和3年度の国内への侵入リスクは高い状態である。

アフリカ豚熱は中国、韓国等のアジア諸国で感染が拡大している状況であり、国内への侵入リスクは高い状況である。

令和2年1月8日に県では33年ぶりとなる豚熱の発生が確認された。うるま市、沖縄市において7事例発生し、疫学関連3農場を含め10農場で殺処分等の防疫措置が行われ、12,381頭の豚が殺処分された。今回の豚熱発生では、発生日から令和2年4月13日の期間、移動制限等の制限区域が設定された。野生イノシシでは本病のウイルスは確認されておらず、養豚場での発生は地域的に限局的であった。豚熱の防疫対策の強化として豚熱ワクチン接種、飼養衛生管理基準の遵守強化に取り組んでいるところである。

国内での豚熱(CSF)の発生及びアジア地域でのアフリカ豚熱(ASF)の感染拡大等を踏まえ、令和2年に家畜伝染病予防法、各特定疾病指針の改正、飼養衛生管理基準指導指針の新設、全家畜の飼養衛生管理基準が改正された。

県内での豚熱発生や家畜伝染病予防法等の改正を踏まえ、対策本部・各地域現地対策本部の設置に関する規定、特定家畜伝染病危機管理対策会議設置要綱を見直し、危機管理体制の整備を図るとともに、防疫演習や講習会等を実施して、体制の確認・強化を図る。

今後とも、これらの疾病のみならず、本県における新興・再興感染症の発生及び慢性疾病や複合感染症に対し、発生予防・まん延防止対策や食の安全・安心確保のため、家畜伝染病予防事業、家畜衛生対策事業等を活用し、関係機関と連携して取り組んでいく。

## 2. 家畜防疫状況（令和2年）

### （1）検査実施状況

事業名	家畜の種類	検査頭数		検査の結果			実施時期	摘要
		実頭数	延頭数	患者	疑似患者	健康		
B S E	牛	424	424			424	1月～12月	ELISA法
結核	牛	768	768			768	1月～12月	ツベルクリン皮内反応
ブルセラ症	牛	838	838			838	1月～12月	急速凝集反応
牛流行熱等追跡調査 （抗体）	牛	332	377	(6)*		371	1月～12月	中和試験
牛伝染性リンパ腫	牛	1,159	1,161	(448)*		713	1月～12月	抗体検査
ヨ一ネ病	牛	2,010	2,010			2,010	1月～12月	ELISA法
豚熱	豚	9,870	9,870	(270)*		9,600	1月～12月	中和試験、ELISA法
オ一エスキ一病	豚	2,414	2,828			2,828	1月～12月	ラテックス凝集反応、中和試験
ニューーカッスル病	鶏	275	275	(193)*		82	1月～12月	HI検査
家きんサルモネラ症	鶏	120	120			120	1月～12月	種鶏 急速凝集反応
高病原性鳥インフルエンザ	鶏	1,800	1,800			1,800	1月～12月	血清抗体検査、ウイルス分離
腐蛆病	蜜蜂	1,618	1,618			1,618	1月～12月	細菌検査

\*は抗体検査成績（患者：陽性，疑似患者：疑陽性）

事業名	家畜の種類	検査頭数		検査の結果			実施時期	摘要	
		実頭数	延頭数	疾病名	患畜	疑似患畜			健康
牛伝染性疾病検査	牛	44,409	190,679	B	5	5	190,669	1月～12月	
				S					
				E					
				口蹄疫					
				子牛下痢症					
豚伝染性疾病検査	豚	430,880	2,586,835	皮膚真菌症	16	12,365	2,574,454	1月～12月	
				ピンクアイ					
				豚コレラ					
				口蹄疫					
				下痢症					
鶏伝染性疾病検査	鶏	1,138,957	6,837,522	大腸菌症	3	42	6,837,477	1月～12月	
				異常産					
				肺炎					
				滲出性表皮肺炎					
				高病原性鳥インフルエンザ					
臨床検査				マレック病					
				伝染性コリネーザ					
				コクシジウム症					
				ブドウ球菌症					
				I B D					

(2) 注射実施事業

事業名	区分	種類	注射回数				計	注射の反応				実施期間	摘要	
			第1回	第2回	第3回	計		死亡	流死産	重症	軽症			
牛流行熱・イバラキ病 混合不活化ワクチン	予	牛	187	84	0	271	0	0	0	0	0	0	1月～12月	
牛異常産3種混合不活 化ワクチン	予	牛	2,219	1,376	0	3,595	0	0	0	0	0	0	"	
アカバネ病	予	牛	1,052	0	0	1,052	0	0	0	0	0	0	"	生ワクチン
牛流行熱	予	牛	59	69	0	128	0	0	0	0	0	0	"	不活化
豚熱	予	豚	397,288	7,436	0	404,724	0	0	0	0	0	0	"	生ワクチン
ニューカッスル病	予	鶏	715	0	0	715	0	0	0	0	0	0	"	不活化

(3) 薬浴(投薬)実施状況

事業名	区分	家畜の種類	実施回数				薬浴(投薬)の反応				実施期間	摘要	
			実回数	延回数	死亡	計	流死産	重症	軽症				
ダニ駆除	投	牛	1,060	1,060	0	0	0	0	0	0	0	"	バイチコール

### 3. 家畜伝染病発生状況

年	病名	アナプラズマ症	ピロプラズマ症	豚	熱	ヨーネ病	結核	流行性脳炎 (豚)	ニューカッスル病	ひな白痢
	H18					7				
	H19	1				7				
	H20	1				2			300	
	H21					14				
	H22					2				
	H23					6				
	H24					2		15		
	H25					1				
	H26							2		
	H27					1				
	H28									
	H29									
	H30					2				
	H31 (R1)					2				
	R2				16					

#### 4. 牧野ダニ侵入防止対策事業

##### (1) オウシマダニ侵入防止推進会議

(令和2年度)

開催回数	参集範囲	参加延べ人数	備考
技術検討会 1回	国, 県, 家保, 有識者等	21人	書面開催

##### (2) ダニ監視体制強化の整備

(令和2年度)

区分	対象地域	回数 または 頭数
草地ダニ検査	八重山地域	27回
	宮古地域	6回
牛体ダニ検査	八重山地域	3,222頭
	宮古地域	147頭
血液原虫検査	八重山地域 (県外導入牛舎)	400頭
	県外導入牛 (八重山地域外)	246頭



## 5. オウシマダニ撲滅達成状況

令和3年3月現在

地 域 名	撲 滅 達 成 年 度
伊 是 名 島	昭和56年度
伊 平 屋 島	60
多 良 間 島	61
北 大 東 島	61
伊 良 部 島	61
黒 島	平成2年度
竹 富 島	3
鳩 間 島	3
小 浜 島	4
波 照 間 島	4
与 那 国 島	5
西 表 島	6
石 垣 島	8
内 離 島	8
外 離 島	8

(撲滅達成)：ダニ駆除又は牛処分終了後、最低1年以上オウシマダニが全く確認出来ない状態を撲滅達成とした。

## 6. 家畜伝染病に係る沖縄県対策本部設置要綱、要領等

伝染病名	要綱、要領等	策定年月日 (最終改正日)
特定家畜伝染病	沖縄県特定家畜伝染病危機管理対策会議設置要綱	平成24年5月16日 (令和2年1月7日)
高病原性鳥インフルエンザ(法)	高病原性鳥インフルエンザ侵入防止対策行動態勢(フェーズ区分)	平成23年1月31日 (令和3年5月11日)
	沖縄県高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ防疫対応マニュアル	平成29年9月9日 (令和3年3月18日)
口蹄疫(法)	口蹄疫侵入防止対策行動態勢(フェーズ区分)/県口蹄疫防疫体制	平成22年5月25日 (令和3年5月11日)
	沖縄県口蹄疫防疫方針	平成22年6月16日 (平成26年6月30日)
	沖縄県口蹄疫侵入防止対策ガイドライン	平成22年7月1日 (平成26年6月30日)
	沖縄県口蹄疫初動防疫マニュアル	平成22年6月17日 (平成31年3月19日) H31.3名称変更
	家畜市場口蹄疫侵入防止対策方針	平成22年6月1日
	沖縄県口蹄疫緊急対策会議設置要綱	平成22年5月14日 (平成26年6月30日)
牛海綿状脳症(BSE)(法)	沖縄県牛海綿状脳症(BSE)対策本部設置要綱	平成13年10月17日 (平成26年6月30日)
ヨーネ病(法)	沖縄県牛ヨーネ病防疫対策実施要領	平成14年10月4日 (平成28年4月1日)
豚熱(法)	豚コレラ・アフリカ豚コレラ侵入防止対策に対する具体的な行動表	令和元年9月13日 (令和3年5月11日)
	沖縄県豚コレラ防疫対策要領	平成13年2月13日
オーエスキー病(届)	沖縄県オーエスキー病防疫対策実施要領	平成3年8月30日 (平成30年3月28日)
	県外導入豚着地検査実施要領	平成12年11月1日 (平成30年3月28日)
	沖縄県オーエスキー病防疫協議会会則	平成3年9月24日 (平成30年12月3日)
	沖縄県オーエスキー病防疫協議会細則	平成4年6月12日 (平成30年12月3日)
出先機関	北部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成22年5月27日 (平成27年2月20日)
	中南部地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成26年12月27日 (平成30年7月10日)
	宮古地域特定家畜伝染病対策本部設置要綱	平成22年6月1日 (平成30年6月4日)
	八重山地域特定家畜伝染病防疫対策本部設置要綱	平成19年3月12日 (H28年4月25日)

注意:(法)家畜伝染病、(届)届出伝染病

## 7. 令和2年度沖縄県特定家畜伝染病防疫実働演習について

口蹄疫や鳥インフルエンザの侵入防止対策の強化と実効性ある迅速な初動防疫態勢および発生時のウイルス拡散防止対策技術を訓練する目的で、関係各課および関係団体のご理解、ご協力の下、4つの地区で関係機関団体参加型の実働演習を開催致しました。

### 【北部家畜保健衛生所】

#### ■ 令和2年度北部地域特定家畜伝染病防疫実働演習（令和3年3月17日）

- ◇ 参加者：家畜保健衛生所職員 20名
- ◇ テーマ：鳥インフルエンザ発生時のウイルス浸潤状況調査（鶏の採血、気管スワブ等）



### 【中央家畜保健衛生所】

#### ■ 令和2年度中南部地域高病原性鳥インフルエンザ防疫実働演習（令和3年2月18日）

- ◇ 参加者：家保職員 12名
- ◇ テーマ：鳥インフルエンザ発生時の保定・採材・殺処分演習



#### ■ 令和2年度中南部地域特定家畜伝染病防疫演習（令和2年10月1日）

- ◇ 参加者：現地対策本部員 15名
- ◇ テーマ：アフリカ豚熱の机上演習

【宮古家畜保健衛生所】

■ 令和2年度宮古地域特定家畜伝染病防疫演習（令和2年2月26日）

- ◇ 参加者（送付先）：国、県。市村、畜産関係団体、自衛隊等
- ◇ テーマ：防疫作業従事者向け事前学習動画の送付

<p><b>動画①防護服の着脱</b></p>  <p>使用する道具の説明</p> <p>防護服の着脱方法</p> <p>長靴等の目張り方法</p> <p>手洗い、うがい</p>	<p><b>動画③フレコンバッグの作成</b></p>  <p>内袋のセット</p> <p>投入</p> <p>口を閉める</p> <p>ラッカーで番号記載</p>
--	--

【八重山家畜保健衛生所】

■ 令和2年度八重山地域特定家畜伝染病防疫演習（令和2年12月3日）

- ◇ 参加者：家畜保健衛生所、市町村、関係機関 34人
- ◇ テーマ：豚熱発生時の一連の農業防疫作業と連携確認及び農場での防疫作業

